

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒状況（技術情報第4号）について

近年、ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率が高くなっています。保毒状況について下記のとおり取りまとめましたので、防除指導等にご活用下さい。

記

【保毒虫調査】

県内10地点より採集したヒメトビウンカ及び農業研究センター内に設置しているネットトラップに捕獲されたヒメトビウンカについて、高比重ラテックス凝集反応法によりイネ縞葉枯ウイルスの保毒状況を調査した（表1）。

過去、同様に行った調査と比較して今年の保毒虫率は高く（表2）、今後イネ縞葉枯病の発生に注意が必要である。

表1 H18ヒメトビウンカ保毒虫調査

採集地点	植生	採集日	検定虫数	保毒虫数	保毒虫率(%)
城南町永	コムギ	5/11	1	0	0.0
富合町新	コムギ	5/11	4	0	0.0
菊池市森北	コムギ	5/22	39	5	12.8
菊池市七城町	コムギ	5/22	21	3	14.3
大津町町 1	コムギ	5/22	7	0	0.0
" 2	イリアン	5/11	2	0	0.0
嘉島町上六嘉	コムギ	5/11	43	0	0.0
氷川町若洲	コムギ	5/24	52	4	7.7
上天草市松島町	イリアン	5/30	7	0	0.0
農研センター(合志市)	イリアン	5/25	96	4	4.2
計			272	16	5.9
(参考) ネットトラップ : 農研センター		5/19~ 6/11	103	1	1.0

表2 ヒメトビウンカ保毒虫率の推移

調査年	H18	(H17)	H16	H15	H13	H12	H11	平 年 (H11~13,15,16)
保毒虫率(%)	5.9	(2.9)	8.3	1.6	0.4	1.1	0.4	2.4

注1) H17はネットトラップ(合志市)の保毒虫率

注2) H14は調査していない